

グラウンド週3日、午後7時完全下校… 八尾の練習工夫 評価

来春の第91回選抜高校野球大会（毎日新聞社、日本高野連主催）の「21世紀粋」選考で14日、府立八尾高校（八尾市）が近畿地区候補校に決まった。

同校野球部は1915年創部。今年の秋季近畿地区高校野球大会府予選では16強入りした。グラウンドは他の部活と共有しているため、使用できるのは週3日

しかなく、午後7時に完全下校。厳しい条件下で、練習内容を工夫して技術向上に努めていることが評価された。

長田貴史監督(41)は「新チームだけでなく、OBが築き上げてきた伝統を含めて評価されたと思っている。特に打力が足りないなので、この冬に鍛えていきたい」。西浦謙太主将(2年)

は「うれしい半面、近畿の候補校になった責任感を感じている。これからも地域の人たちに愛されるチームを目指し、練習も日常生活もきっちりやりたい」と気を引き締めていた。

選考委員会は来年1月25日。21世紀粋は、全国9地区の候補校の中から3校がセンバツ切符を手にする。同校が選ばれれば、春は1952年以来7回目の甲子園出場となる。同校は夏の全国選手権にも4回出場している。

【加藤佑輔】